



広がる映像活用の取り組み — 座光寺の映像鑑賞会に参加して —

去る10月28日、座光寺地区で活発に活動する住民による団体「歴史に学び地域をたずねる会」が主催した映像の鑑賞会に飯田市歴史研究所から参加しました。この会では座光寺地区宮崎の湯澤喜好さん・政一さん親子が撮影した昔の映像が上映されました。

一つは「中央道の工事現場」です。地域の風景が変貌していく大工事の様子を捉えた映像は、喜好さんご自身によって作業を解説する音声が付け加えられたもので、時を越えて私たちに語りかけておられるようでした。もう一つは旧座光寺小学校の四季と学校解体现場の映像です。解体作業に携わられた政一さんだからこそ撮影できた貴重な映像でした。当日は30名弱の方が公民館に集まり、懐かしい映像を鑑賞して、思い出を語り合いました。

今回鑑賞したような個人が撮影した映像は、「ホームムービー」と呼ばれ、地域の貴重な遺産として近年評価が高まっています。くしくも鑑賞会の前日10月27日はユネスコの呼びかける「世界視聴覚遺産の日」で、世界各地で同様の取り組みが行われています。

歴史資料は単に過去を復元するための素材というだけではありません。現在を生きる私たちは、資料のもつ力を手がかりに語り合い、自分たちのこれまでの来歴とこれからの未来に想像力を働かせることができます。時の経過に堪えて残されてきた先人の遺産の持つ力を借りながら、私たちが作り上げる今現在のつながりが「文化」なのだと思います。



映像鑑賞会の様子

歴史研究所でも、保存設備になお課題がありますが、地域の映像資料の保存と活用を今後より一層サポートしてまいりたいと思います。すでに、先駆的な南信濃地区では「遠山郷」アーカイブ事業として地域の映像等を収集・復刻する事業が公民館の主導で取り組まれています。発掘された映像は、当時を知る人にとっただけではなく、昔を知らない人にとっても新鮮な驚きと共に鑑賞できるものであり、世代を超えた交流につながります。個人の撮影した映像だけでなく、公民館などで、地域住民が力を合わせて撮影した映像が存在するのも、社会教育の伝統がある飯田下伊那ならではの姿だと思います。

映像を記録したフィルムは時の経過とともに劣化していつてしまいます。地域の研究所として共に学びながら、保存と活用の方をを考えさせていただきたいと思います。（研究員 安岡 健一）



平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)

ワークショップ

伊那谷の人形芝居

2月21日(土) 10:00～16:30

会場：飯田人形劇場（飯田市高羽町5-5-1）

参加費：無料

報告者：久堀 裕朗（大阪市立大学）・中西 英夫（淡路人形浄瑠璃資料館）

吉田 ゆり子（東京外国語大学）・桜井 弘人（飯田市美術館）

【開催趣旨】

伊那谷に伝承された人形芝居は、下伊那では今田人形、黒田人形、早稲田人形、上伊那では古田人形と、地域ごとに受け継がれてきました。現在も、学校や地域の継承活動が盛んですが、なぜ伊那谷に人形芝居が伝わり継承されることになったのか、その歴史を改めて検証し、地域の芸能として伝承していく意義を確認し直します。とくに、淡路の人形浄瑠璃との歴史的つながりを明らかにし、地域に人形芝居が根付いた歴史を解き明かしていきます。



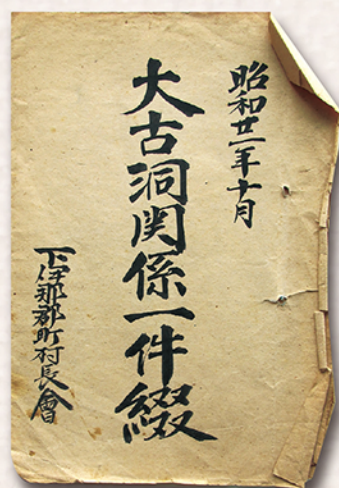
※参加をご希望の方は、事前に歴史研究所までお申し込みください。

下伊那郡町村長会文書の整理と共同利用

このほど歴史研究所では、満蒙開拓平和記念館に寄贈されていた下伊那郡町村長会文書の借用調査を行いました。下伊那郡町村長会は、1935年5月の会則によれば、郡内の町村長により組織され「自治体の向上発展を期する」ために「自治行政に関する諸般の事項を調査研究し」、「国と県町村長会と連絡を図る」ために、各町村の分賦金により運営されていました。予算規模は7,760円余（1938年、小さな村の年間予算の三分の一に相当）、各町村の要望を県に上げるとともに、県と国からの通達を町村に伝達するなど地方行政に大きな権限を持っていました。特に下伊那郡町村長会は、1937年の水曲柳開拓団と1939年の大古洞下伊那郷開拓団の送出母体となるなど満州移民と青少年義勇軍送出に重要な役割を担いました。

下伊那郡町村長会の文書については、2012年4月に下伊那町村会が文書を整理した際に、その一部が歴史研究所に移管され、調査整理を行っています。今回借用整理したのは、1946-48年の敗戦直後の20点余の文書です。こうした史料から戦後の引揚げにも町村長会が一定の役割を担っていたことがわかります。

これらの史料については原史料保護のためにデジタルデータ化を行いました。これにより、満蒙開拓平和記念館と共同利用が可能となります。満蒙開拓平和記念館と歴史研究所の連携は、満州移民研究を進めていくうえで新たな一歩となります。また今後、下伊那郡町村長会だけでなく支所文書（旧町村）の行政史料についても調査と保存のための整理を進めていくことが重要だと思えます。（調査研究員 本島 和人）



下伊那郡町村長会史料
「大古洞関係一件綴」

報告 地域史講座「史料からよみとる江戸時代の長久寺—飯田藩との関係をさぐる—」

11月8日に地域史講座を東野公民館にて開催しました。今回は歴史研究所所蔵「信濃国伊那郡上飯田村田畑山林地引絵図 三」をご覧いただきながら、江戸時代の長久寺と飯田藩の関係についてお話ししました。

長久寺は、飯田藩主であった脇坂氏や堀氏の菩提寺であり、同藩による寺社支配に深くかかわりを持つ存在でした。また長久寺には堀家歴代やその関係者の墓や供養碑などが存在し、江戸時代には藩主やその一族の法事が行われていました。

18世紀後半の飯田藩では、財政改革に伴う一揆の発生や天明の飢饉などへの対応に追われる中、藩主の夭折と幼年藩主の誕生という危機的な状況に直面していました。隠居していた7代藩主堀親長はそうした中で藩政をとらなければならず、藩主が幼い状況に危機感を抱いていました。親長は藩主親民が成長し、飯田へ初めて入部するタイミングで、長久寺の中にあった堀氏歴代にゆかりの場所を整備し、先祖の存在をクローズアップするような政策をとりました。これには先祖の存在を政治利用しようとする意図があったと推測されます。その中で菩提寺であった長久寺の存在が、堀家や飯田藩にとってより重要なものになっていったと考えられます。（研究員 千葉 拓真）



わが町の建築史ゼミが開講しました

10月末より、「わが町の建築史ゼミ」が開講し、11月13日には旧飯田測候所において、第1回講義「街の見かた、家の見かた」を行いました。



講義の冒頭では、参加者の方一人一人に「気になる場所」を示す図面を提出してもらい、お互いの「場所」を思いおこいの図面を通して紹介し合いました。今回のテーマは図面で、会場となった旧測候所の研修室を例に、図の描き方を紹介した他、一般的な図面の種類、設計実務、研究活動における用いられ方についても紹介しました。さらに素材感や場所の空気感を伝える特徴的な図面を描く建築家の表現方法や、講師が手描き図面による建物の質感の表現を始めたいきさつなどを交え、図面表現における街や場所の捉え方の時代的変遷について、語り合う場となりました。

毎月第2・第4木曜日 18:30～20:00

講師：樋口 貴彦（研究員）ほか

場所：飯田市歴史研究所 研修室

（旧飯田測候所で行う回もあります）

飯田アカデミア第73講座

12月6日 土 第1講 13:30~15:00
第2講 15:20~16:50

① 近世フランスと日本の職業団体

近世の商人と職人の活動は大概、職業団体という枠組みの中で行われていました。日本の「仲間」や、フランスの「corporations」がそれでした。それらには職業を規制する集団と社会や権力に対し同業者を代表する連帯団体という両面性があり、特に都市において重要な役割を果たしていました。しかしフランスにおいても日本においても政治権力との関係が複雑であり、近世末期には両方の国で同業仲間廃止論が浮上しました。近世のフランスと日本の同業組合の機能や有様を比較しながら、近世社会の変遷を振り返ります。

② 悪銀と偽貨幣の徳川時代

徳川政権が成立してまもなく、金・銀の幕府の貨幣が鋳造されたものの、江戸時代初期には地方によって形や質が異なる多様な貨幣が流通し、貨幣の統一はまだ完成していませんでした。この様々な貨幣の中には悪質のものや偽貨幣も多かったため、取引が円滑に行われるために詐欺や偽造などを摘発しながら、貨幣の価値を保証する制度が必要でした。加賀藩の資料をもとに江戸前期の「悪銀」、偽造貨幣や貨幣にまつわる詐欺などの例をいくつか挙げて、当時の貨幣流通の特質を考えてみたいと思います。

講師：ギヨーム・カレ さん
(フランス国立社会科学高等研究院
日本学研究所長)



会場：りんご庁舎 3階会議室
(飯田市本町1丁目15)

受講料：500円 (資料代)

※講義は日本語で行われ、1講義のみでもご参加いただけます。
※受講をご希望の方は歴史研究所までお申し込みください。

ワークショップ

交差する日本近世史

『思想』(岩波書店) 2014年第8号「交差する日本近世史—日仏の対話から—」は、2006年以来継続してきた、日本とフランスの歴史研究者の研究交流の成果を紹介し、これに対するフランス側の歴史研究者によるコメントを中心に編集されたものです。長期にわたる交流の橋渡し役を担ってこられたギヨーム・カレ氏を飯田にお招きし、『思想』特集号の成果を改めて吟味しながら、今後の方向性を考えようと企画しました。

12月7日 日 9:30~15:00

会場：りんご庁舎 3階会議室

(飯田市本町1丁目15)

参加費：無料

【日程】

第1部 9:30~11:30

◆趣旨説明

◆ギヨーム・カレ

「歴史の比較・アプローチの交差・概念の再検討」へのコメント

①多和田 雅保 (横浜国立大学)

②齊藤 紘子 (大阪市立大学)

◆リプライ

ギヨーム・カレ (フランス国立社会科学高等研究院)

第2部 13:00~15:00

◆『思想』執筆者からの発言

高澤 紀恵 (国際基督教大学)

塚田 孝 (大阪市立大学)

森下 徹 (山口大学)

吉田 ゆり子 (東京外国語大学)

吉田 伸之 (飯田市歴史研究所)

◆討議

思想 8



※参加をご希望の方は歴史研究所までお申し込みください。

！ 飯田市歴史研究所年報13号への投稿は 12月27日締切(必着)です

歴史学関連の研究論文や史料紹介、文献紹介など、各種原稿を受け付けております。詳しくは年報12号投稿規定または歴史研究所ホームページをご覧ください。

締切：平成26(2014)年12月27日必着

(締切を過ぎた場合はご投稿を受理できません)

✉ 歴研ニュース メール配信

歴研ニュースのメール配信(PDFファイル)を行っています。郵送に代えてメールでの配信をご希望の方は、メールにて歴史研究所までご連絡ください。

E-mail: iihrr@city.iida.nagano.jp



定例研究会

開催日：1月17日 土

テーマ：「満洲視察と地域メディア」

報告者：本島 和人 (調査研究員)

時間：14:00~16:00

場所：歴史研究所 研修室

※定例研究会はすべて公開で行っています。
どなたでもご参加いただけます。

受講生募集

スタッフとともに
歴史を学んでみませんか。
場所：歴史研究所 研修室

近世史ゼミ

12月2日・16日
1月13日・20日
19:00~20:40
担当：千葉拓真（研究員）

近現代史ゼミ

12月13日
1月10日・31日
17:00~18:40
担当：田中雅孝（調査研究員）

思想史ワークショップ

12月3日・17日
1月7日・21日
19:00~20:40
市民の皆さんが自主的に学び合う場

わが町の建築史ゼミ

12月11日（旧測候所）・25日
1月8日（旧測候所）・22日
18:30~20:00
担当：樋口貴彦（研究員）

自分史ゼミ

12月13日
1月10日・24日
13:30~15:00
担当：安岡健一（研究員）

満州移民研究ゼミ

第43回 12月6日
第44回 1月10日
10:00~11:40
担当：本島和人（調査研究員）

古文書入門講座

第6回 12月13日・20日
第7回 1月10日・24日
10:00~11:30
担当：伊坪達郎（調査研究員）

ゼミ・ワークショップの詳細につきましては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL: 0265-53-4670

歴史研究所催事スケジュール

2014年 12月

2015年 1月

月	1	木
NL73発行／近世史ゼミ	2	金
思想史ワークショップ	3	土
木	4	日
金	5	月
飯田アカデミア／満州移民研究ゼミ	6	火
ワークショップ 「交差する日本近世史」	7	水
月	8	木
火	9	金
水	10	土
建築史ゼミ	11	日
金	12	月
古文書入門講座 自分史ゼミ／近現代史ゼミ	13	火
日	14	水
月	15	木
近世史ゼミ	16	金
思想史ワークショップ	17	土
木	18	日
金	19	月
古文書入門講座	20	火
日	21	水
月	22	木
火	23	金
水	24	土
建築史ゼミ	25	日
金	26	月
土	27	火
日	28	水
月	29	木
火	30	金
水	31	土

開所時間：午前9時～午後5時

休 所 日：日曜日・月曜日・祝日・12月29日～1月3日

休所日

開所日

歴研日誌

10月

- 1日… 歴研ニュース 72号発行
- 1日… 思想史ワークショップ「ジョン・ダワー『敗北を抱きしめて』」
- 4日… 満州移民研究ゼミ 第41回「宮下功『満洲紀行』を読む(40)」
- 4・5日… 飯田アカデミア第72講座「連合国軍(米軍)の日本占領—地方軍政部隊と長野県を中心として—」(荒畠 長野県短期大学名誉教授)(りんご庁舎)
- 7日… 歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 7日… 近世史ゼミ「小笠原家文書を読む①」
- 11日… 古文書入門講座 第4回「人名・村名を読む②」
- 11日… 近現代史ゼミ「昭和2年の胡桃澤盛日記と南信新聞」7・8月
- 12日… 大鹿村大河原 松下家文書調査(伊坪調査研究員)
- 12日… 満蒙開拓平和記念館研究所発行シンポジウム(本島調査研究員)
- 15日… 思想史ワークショップ「荒正人『第2の青春』①」
- 15-17日 旭ヶ丘中学校 2年生職場体験実習受け入れ
- 18日… 満州移民を考える会報告「下伊那郡町村長会の満州視察」(本島調査研究員)(座光寺公民館)
- 18日… 阿智村中関 第1回区有文書見学会(伊坪調査研究員)(中関高齢者生きがいセンター)
- 21日… 歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 21日… 近世史ゼミ「小笠原家文書を読む②」
- 21日… 出前講座 区有文書の解説・保存方法指導(伊坪調査研究員)(長野原区民センター)
- 21-22日 阿智村駒場 建築物調査(樋口研究員)
- 21-23日 竜峡中学校 2年生職場体験実習受け入れ
- 25日… 定例研究会「蚕糸業の展開と流通の変化—伊那郡嶋田村を中心に—」(伊坪調査研究員)
- 25日… 南信州地域資料センター資料整理(本島調査研究員)(南信州地域資料センター)
- 25日… 古文書入門講座 第4回「人名・村名を読む②」
- 25日… 自分史ゼミ 第11回「地図の作成・編集」
- 25日… 近現代史ゼミ「昭和2年の胡桃澤盛日記と南信新聞」9・10月
- 25-26日 飯田市南信濃 佐藤弘家調査(吉田所長・吉田ゆり子顧問研究員・千葉研究員・樋口研究員・多和田調査研究員・竹ノ内調査研究員・前澤客員研究員)
- 26日… 出前講座「満州移民—川路分村と海瀬村」(本島調査研究員)(佐久穂町公民館)
- 28日… 歴史に学び地域をたずねる会 映像上映会(安岡研究員)(座光寺公民館)
- 29日… 神戸大学大学院 人文学研究科地域連携センター視察受け入れ
- 29日… 桐林区有文書調査(千葉研究員・伊坪調査研究員)(桐林区民センター)
- 30日… わが町の建築史ゼミ「ガイドランス」

11月

- 1日… 満州移民研究ゼミ 42回「宮下功『満洲紀行』を読む(41)」
- 4日… 歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 4日… 中心市街地活性化に関する講演会・シンポジウム(本島調査研究員)(飯田信用金庫本店)
- 4日… 近世史ゼミ「小笠原家文書を読む③」
- 5日… 出前講座 総合的な学習授業「飯田線の歴史」(伊坪調査研究員)(緑ヶ丘中学校)
- 5日… 思想史ワークショップ「荒正人『第2の青春』②」
- 7日… 飯田市江戸町 福沢洋治家文書調査(千葉研究員・伊坪調査研究員)
- 8日… 地域史講座「史料からよみとく江戸時代の長久寺—飯田藩との関係をさぐる—」(千葉研究員)(東野公民館)
- 8日… 古文書入門講座 第5回「村送り証文を読む」
- 8日… 自分史ゼミ 第12回「印刷の種類」
- 12日… 古代史ゼミ「美濃と新羅の古代史」(北村調査研究員)
- 13日… 松川高校 1年生就業体験受け入れ
- 13日… わが町の建築史ゼミ 第1回「街の見かた・家の見かた」(旧飯田測候所)
- 14日… 丘の上研究会例会「『動向書上帳』と飯田藩政」(千葉拓真研究員)(大田区消費生活センター)
- 14日… 「動向書上帳」編集会議(吉田所長・千葉研究員・多和田調査研究員・竹ノ内調査研究員)(大田区消費生活センター)
- 15日… 定例研究会「地方における自治思想の形成—明治期松尾小学校の自治教育」(栗谷市民研究員)
- 15日… 近現代史ゼミ「文献講読・聞き書き調査報告」
- 18日… 歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 18日… 近世史ゼミ「小笠原家文書を読む④」
- 19日… 思想史ワークショップ「宮本百合子」
- 22日… 古文書入門講座 第5回「村送り証文を読む」
- 22日… 自分史ゼミ 第13回「目次を考える」
- 25日… 歴史に学び地域をたずねる会 聞き取り調査(安岡研究員)(麻績史料館)
- 27日… わが町の建築史ゼミ 第2回「テーマ検討①」
- 29日… 近現代史ゼミ「聞き書き報告」
- 29日… 満州移民を考える会報告「軍事郵便から見る戦地と「銃後」の結びつき」(安岡研究員)(松尾公民館)
- 30日… 出前講座「伊那谷の自然と文化」学びあい講座「橋北まるごと博物館めぐり」(樋口研究員)(旧飯田測候所)